

衆議院環境委員会ニュース

平成 29.3.14 第 193 回国会第 4 号

3 月 14 日（火）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 原子力利用における安全対策の強化のための核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 17 号）

- ・山本環境大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
（参考人）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構理事長 児玉 敏 雄君
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

石川 昭 政君（自民）

- ・今回の改正によって事業者が自ら原子力発電所の検査を行う制度へと変更することとした意図について、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）に伺いたい。また、今回の改正によってどのように検査制度の合理化が図られることとなるのか、併せて伺いたい。
- ・今回の改正で新たに導入される原子力規制検査の結果について、公表のルールはどのようなものになるのか、原子力規制庁に伺いたい。
- ・原子力規制検査により軽微な不適切事例が見つかった場合、どのような是正措置がとられることになるのか、原子力規制庁に伺いたい。また、評価が良好な場合には事業者にどのようなメリットを付与するのか、併せて伺いたい。

塩川 鉄 也君（共産）

- ・東京電力が原発に係る事故やトラブル隠し、記録改ざんを重ねてきたことについて、田中委員長及び山本環境大臣はどのように受け止めているのか見解を伺いたい。
- ・東京電力柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟における耐震性不足の問題の経緯及び同問題に対する原子力規制委員会（以下「規制委員会」という。）としての評価と今後の対応策について、原子力規制庁に伺いたい。
- ・今回の法改正は、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえたものになっているのか、また、改正内容のどこに反映されているのか、原子力規制庁に伺いたい。

菅 直 人君（民進）

- ・規制組織として、原子力発電所が立地する自治体の関係者と一層の意見交換を行うべきとの意見に対する田中委員長の見解を伺いたい。

- ・東海再処理施設において、高放射性廃液がガラス固化処理されないまま漏れ出すリスクがある状態で貯蔵されている現状の認識、このリスクの高い状況が長期にわたって続いている理由、当該状態の危険性の認識について、児玉国立研究開発法人日本原子力研究開発機構理事長（以下「児玉理事長」という。）に伺いたい。
- ・東海再処理施設の廃止措置完了までの期間、必要となる費用の見積額について、児玉理事長及び監督官庁である文部科学省に伺いたい。また、同機構によって安全性が確保された廃止措置を実施する能力があるのか、原子力規制庁の見解を伺いたい。

江田 康 幸君（公明）

- ・原子力発電所の適合性審査の進捗状況及び再稼働の状況について、原子力規制庁に伺いたい。
- ・規制委員会は現行の検査制度のどこに問題があると考えているのか、また新たな検査制度により現行の検査制度の問題点がどのように克服され、安全性の維持向上につながると考えているのか、田中委員長に伺いたい。
- ・廃止措置計画と廃止措置実施方針の違いと同方針の記載項目について、原子力規制庁に伺いたい。併せて同方針の定期的な更新は本改正案では規定されていないが、今後求める考えはあるのか、また、同方針の実行性を担保するために届出の義務付けは有効であると考えているが、本改正案に盛り込まなかった理由について、原子力規制庁に伺いたい。

小沢 鋭 仁君（維新）

- ・規制委員会は 3 条委員会である一方で環境省の外局として位置付けられているが、このような環境省と規制委員会との関係について、山本環境大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国の原子力施設がテロ攻撃の標的となった事例はあるのか、原子力規制庁に確認したい。併せて原子力施

設がミサイル等による攻撃対象とされた場合の対処方法について、防衛省に伺いたい。

・福島第一原子力発電所の事故対策費の増加等により、原子力発電の発電コストが高くなることから、代替エネルギー等を含めエネルギー政策の在り方を検討し直すべきと考えるが、資源エネルギー庁の見解を伺いたい。

福 田 昭 夫 君 (民 進)

・検査制度の見直しにより、事業者が自ら原子力発電所の検査を行うこととなるが、その効果及び検査の回数・時間が具体的にどの程度増加すると見込まれるか、原子力規制庁に伺いたい。

・平成 11 年に放射線審議会の所掌事務から削除された、自ら調査審議し意見具申する機能を改めて追加することとした理由について、原子力規制庁に伺いたい。

・もんじゅの失敗も含めこれまでの核燃料サイクル政策をどのように評価しているか、資源エネルギー庁に伺いたい。また、もんじゅはマネジメントに問題があったと評価されているが、20 年間も運転できていないのに技術的に問題ないとは考えられない。この点について文部科学省の見解を伺いたい。

玉 城 デ ー ニ ー 君 (自 由)

・国際原子力機関による総合規制評価サービス報告書の公表後に規制委員会が行った見直しに向けた取組みを確認したい。

・今回の改正に伴い特定放射性同位元素を扱う事業者にテロ対策としての防護措置の実施が義務付けられるが、サイバーを除くセキュリティ体制構築のため、どのようにして事業者と他の関連機関との連携を図るのか、原子力規制庁の見解を伺いたい。